



～人間とは何か・霊的眞実～ 詩・短歌編

日本おやじギャグ協会

☒我欲とり 天に近づく 我が心

☒悪しき世の 降り積もる雪に 思い馳(は)せ

☒美しき自然に心が癒され 道の途中を歩みける

☒天の色 どの絵具にも出せずとも 少しでも近づきたいと 願う我心

☒曇り空 雲の上には太陽だ

☒植物に 命の一途さ教えられ

☒地上での 肌の色違えども 魂には色はなし

☒肌の色違えども 輝ける霊性皆同じ

☒朝燃ゆる 日の出眺めて誓いけり、人に役立ち 神のみ心

☒愛こそが 霊の本質 悟りけるなり

☒雷や嵐の日こそ 眞の自我 目覚めたりし 天の導き

☒死後もなお 生き続けるなり 去りし人

☒金ばかり 追い求めては 心寒く 天に目を向け 眞の輝き

☒ありがとう 心より出ずる愛の言葉 とても嬉しい 今日の日よ

☒小我(が)より 大我(が)の祈り 我(われ)救う

☒墓場では 人生終わらぬ 霊の道 無限に続く我らの旅

☒見せかけきかぬ 霊界は 霊性(神性)磨き さあ帰ろう

☒間違いは 進化の糧となる 恐れることなく わが道を行く

☒結婚とは お互いに 学びあう為 出会うなり

☒虫の声 小鳥の声 耳すまし 神の存在感じられ

☒霊性(神性)を 磨くためにも 仕事ある

☒今日も頑張る 我仕事 直接眼には見えずとも
地球の仲間のためになる

☒自殺とは 地球学校 留年だあ~🌀

☒道なきと 悩む心に空見れば 小さな悩みと 天の導き

☒空青く輝く白い雲 雪も輝く銀世界 神が創りし芸術なり

☒大雪や 目の前白く見えずとも 己の心 澄み渡るなり

☒人の為 尽くしたことは 宝なり 魂見れば 輝く光

☒子育ては 親は子を見て学び 子は親を見て学ぶ
お互い魂磨いてる

☒外で働く人あれば 家で働く人もいる(家事=主婦・夫)
どちらも仕事 人のため

☒人の為 心がけると その人を 通して神が 働くなり

☒良心が 咎めることを することは 霊的摂理に反することなり

☒風になり 何をたずさえ天をゆく 真白き光に 導かれつつ

☒修業とは 冬に冷たい水をかぶったり 滝に打たれるのもよし
自分や他人の日常生活を 充実したものにするために
奮闘努力することも これまた修業なり

生き物は 霊があるから 生きている

肉体は 霊の住みかで 我(真我)でなし

お互いが お互い思い働けば きっと来るよ 平和な世界

同胞に奉仕する これすなわち 神への奉仕
我これ宗教と理解する

迷ったら 足を止めれば霧晴れて 辿るべき道
見えて来るなり

困難は ヤスリと同じだ 魂ピカピカ ✦

人の為 生きる者こそ 神近し

失敗だ\(\◎o◎)/! 間違い直して(学習して) 大成功

空白く しんしんと 妖精たちが舞い降りる
地上での 役目を終えた魂を 優しく包み
天上へと 導き行く (お二人の魂よ安らかに)

困難・辛い・苦しい を 気楽に明るく暖かく
乗り越えると

ありがとう・感謝・うれしい・楽しい・しあわせ
が待ってるよ 🍊

(でも無理はしないで・時々ひと休みや
逃げるが勝ちもあるよ)

死とは 霊界での 誕生だ 何も 恐れる ことはない
但し、
この世での 勤めは しっかり 努力しよう

勤めが終ると 霊界に 自然に 戻って 胸を張ろう👍

良心が 進むべき道 示すなり 我心に問う 神の声

弱いから 強き事とは 何なのか
理解できるよ 自然の摂理(神の摂理)

大事だよ 日常生活思いやり
お互い助け合って 生きているなり

人間も 見習おう 動物の 我が子を思う 愛情を

毎朝の 命を感謝 人の為 働くチャンス 与えられ

最善を 尽くしていれば 守護霊が
そおっと 援助(ヒント) 与えられ👍

死とは

○地上的な束の間の観点では 肉体との別れを惜しむ
地上の人間の悲しみ (現段階の卒業)

○永遠の霊的観点からは 霊の世界に生まれ変わる為のもので
霊界の人々では祝い・慶び (次の段階への進級)

※但し 地上の役割をしっかりと果たし、
自然に迎えた死の場合。

生命は 神からのプレゼント 大切に 全うしよう

昨日のこと(過ぎたこと) 明日のこと(まだ来ないこと)
今日は忘れて 今に最善尽くすなり

我々が様々な体験をし 魂を磨けるのも
今の時代を構築してくれた 高齢者のお蔭

ありがとう🌸 感謝💖 感謝💖

この時代を受け継いでくれるのは 今の子供たち
しっかり魂を磨いて貰えるように 平和な時代で
バトンタッチ👍

病気とは あなたに贈る メッセージ

人の心を思いやり 霊性高めて譲り合い
みんな幸せ 平和な世界

本物の 愛あれば 必ず再会 霊界は
その絆こそ本物なり

昨日は終わり 今日からの 進歩の為に
心新たに 良い種を撒こう

死は次の世界への旅立ちだ 安心して送り出そう
窮屈な肉体脱ぎ捨てて 自由にのびのびなるのだから
※人の為にしっかり働き勤めを果たした、自然死の場合

明るく楽しく温かく 自分にできることで
人の為に役立つことをして 地球を天国にしよう

人のため それが本当の 愛の心
☆行動に 移すときに 自分に問いかける 動機は何かと 人のためになるのかと

☆ 仏の道も 自分の身の振り方で決まる

☆失って はじめて目に見えないものがみえてきた
大切なのは
人に優しくできる 愛の心

☆ 人生の雨の日も 見えない存在に 癒されて
心温まり 今日も前向いて 自分を信じ 生きて行く

☆ 地上とは 魂のトレーニングセンターだ
試練も自分を鍛えるよいチャンス 明るく乗り越え
どんどん成長しよう(^-^)!



☒〈命〉は分霊(わけみたま)、神のもので各人に宿っている。故に、各人の〈命〉は神のものである。だからお互いに〈命〉を尊重しあいお互いの為に〈命〉を使うのが良い。

すなわち、〈人の為に役立つことをする〉とは、
〈神の為に役立つことをする〉そして
〈自分の為に役立つことをする〉ことである。

そして、

☆ 神は法則であり、〈愛〉である ☆
不滅の霊性 =〈愛〉の諸相= 霊的成長の為に
=人の為に役立つことをする

(思いやりの心・寛容の精神・同情心・愛・
無私的行為・仕事を立派に仕上げる事)

<シルバーバーチ今日のことば>より



通常の記事は左脳で理解します。

詩・短歌編では右脳で感じて下さい。

(順次追加していきます)

協力者 ☆Miss シルバーバーチ

推薦図書

- ♡「シルバー・バーチの霊訓 1～12巻 潮文社 近藤千雄 訳」
- ♡「迷える霊との対話 C.A,ウィックランド著 (精神科医)
ハート出版 近藤千雄 訳」
- ♡シルバーバーチ 今日のことば 近藤千雄 訳編

参考図書

- ♡霊界通信『小桜姫物語』浅野和三郎 著

👍 地上生活の参考に

♡みやざき中央新聞 (株)宮崎中央新聞社

♡絵本 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ
くさばよしみ編 中川学絵

♡絵本 世界でいちばんつよい国
デビッド・マッキー作 なかがわちひろ訳

♡絵本 いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日
坂本義喜原案 内田美智子作 魚戸おさむとゆかいななかまたち絵

世界人類の精神と霊(生命)と肉体が調和されますように🎵

🌸皆さんの今生の学びが有意義で、最上のものでありますように🌸

波動医学研究所

日本おやしギャグ協会

☆彡 「シルバーバーチの霊訓」近藤千雄 訳編

「人間とは何か どのようにして生きればいいのか」をわかりやすく
書いてあります。お薦めの本です。(^ ▽ ^)

☆彡シルバーバーチ霊とは

『シルバーバーチというのは、英国のハンネン・スワツハーホームサークルという家庭交霊会において1920年代後半から五十年にわたって教訓を語り続けてきた古代霊のことで、紀元前1000年ごろ地上で生活したということです。

もちろん仮の呼び名です。これまで本名すなわち地上時代の姓名を教えてくれるよう何度もお願いしましたが、その都度

「それを知ってどうしようというのですか。戸籍調べでもなさるおつもりですか」と皮肉っぽい返事が返ってくるだけです。そして

「人間は名前や肩書きにこだわるからいけないのです。もしも私が歴史上な人物であるとわかったら私がこれまで述べてきたことに一段と箔がつくとでも思われるのでしょうか。
、それは非常にタチの悪い錯覚です。

前世で私が王様であろうと乞食であろうと、大富豪であろうと奴隷であろうと、そんなことはどうでもよろしい。私の言っていることが成るほど納得がいったら真理として信じてください。そんなバカな、と思われたら、どうぞ信じないでください。それでいいのです』

「人間は不滅なのです。死は無いのです。・・・愛しい人たちはそこに生きていていのです」
「私どもが説く宗教とはお互いがお互いのために尽くし合う宗教です。」

人のために役立つことをすることが霊の通貨なのです。

神の子である同胞のために自分を役立てるということは、取りも直さず神のために役立てることであり、それを実行した人は立派に宗教的人間と言えます」

「シルバーバーチの霊訓」より。





2014/10/11 17:14

皆様のご多幸を心よりお祈りしています。

ここまで読んでいただきありがとうございました！！

人間とは何か・霊的眞実 詩・短歌編

<http://p.booklog.jp/book/104299>

著者 : aoi

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kumonosu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/104299>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/104299>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ